

N 住友別子病院ニュース SUMITOMOBESHI HOSPITAL NEWS

2007 July

NO. 104

奇数月1日発行

救急指定病院
地域がん診療連携拠点病院
病院機能評価機構認定病院
医師臨床研修指定病院



写真：武田 政志（星越町）
※写真は一般公募しております。

健康管理講座のお知らせ

8月から糖尿病教室の内容が変更になります。
第2、4週の講義に看護師が加わり、
日常生活（フットケア、口腔ケア…他）
についてお話しします。

日時 毎週水曜日 午後2時～3時30分

場所 外来教室（正面玄関入って右側）



CONTENTS

特集：フットケアを始めよう 2-3
皮膚科長 近藤 厚敏

院内がん登録 4-5

看護の日とは… 6
市民公開行事

理念

患者様の利益を最優先に考え、
良質な医療を提供するという社会的責任を果たします

行動指針

- 1 私たちは人間愛をもって行動し、誠実で信頼される病院を目指します
- 2 私たちは医療と福祉の一翼を担い、地域社会での保健増進に努めます
- 3 私たちは患者様の権利を尊重し、説明と同意による医療を実践します
- 4 私たちは新しい知識と技術を活用し、良質で適切な医療を提供します
- 5 私たちは患者様の安らぎを願い、心と体に優しい医療環境を創ります

無事塗装工事が終了しました。 7
VOICE

平成19年度 新入社員紹介
住友別子病院カレンダー

火の玉 リハビリセンター 篠原 文雄 8

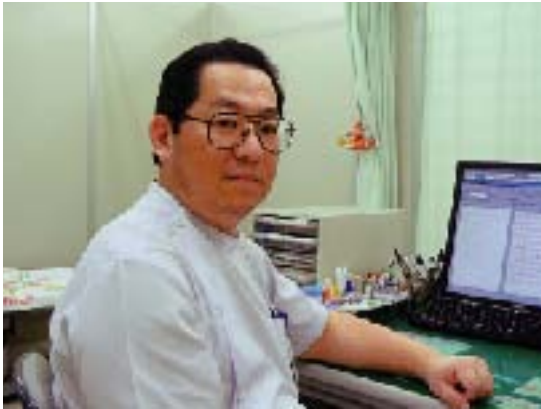
私たちは、あなたを求めています。

看護職員募集中 正職員 臨時職員 問い合わせは

TEL (0897) 37-7113
総務人事課：大崎・三崎

特集

フットケアを始めよう



皮膚科長

こん どう あつ とし
近藤 厚敏

専門 皮膚科一般・皮膚腫瘍

認定 日本皮膚科学会専門医

昭和63年岡山大学医学部を卒業。
岡山大学附属病院などで勤務し、平成8年に住友別子病院皮膚科長として赴任。
専門分野は皮膚腫瘍、形成外科で積極的に取り組んでいます。また当院が行う健康イベントにて医療相談を行うなど、地域との交流を大切にされる親しみやすい先生です。

医師紹介は主な履歴を抜粋したものです。

	診察時間	月	火	水	木	金
午前	9:00~ 12:00					
午後	16:00~ 17:00					

7月、8月の金曜日午後診察は休診(手術日)となります。

最近健康靴が注目を集めたり、各地でフットケアサロンが開設されるなど、足の健康に対する関心が高まっています。ところが、その一方では足に問題を抱える患者様も後を絶ちません。爪の変形やタコ・ウオノメで医療機関を受診するのは躊躇しがちで、どこで診察を受けるべきかもわからないために放置されがちです。また、糖尿病の患者様などでは、足の異常を軽視して深刻な事態を招くことがあります。当院皮膚科では、足(足首よりも先)の皮膚・爪の病気を治療するだけでなく、その予防にも努めたいと考えます。

たとえば足に問題があると何が困るか？

- 何はともあれ、気分が不快です。足を踏み出すたびに痛むなんて
- 別の部位(膝や腰など)も痛めてしまうことがあります。
- 高齢者などでは転倒のリスクが高まります。
- 痛みのため歩行を避けているうちに、筋肉や関節機能も衰えて歩行能力が失われます。リハビリも成果が上がりません。
- 糖尿病、関節リウマチ、閉塞性動脈硬化症などの基礎疾患があると、わずかな足のトラブルが足切断に繋がりがかねません。

足にも感染症、非感染性の炎症、腫瘍、靴の影響によるトラブルなど、さまざまな病気があります。主な病気と原因をあげてみました。

足の病気

白癬菌の感染が原因の病気。

皮膚炎のひとつでかゆみのあるものとなないものがある。足白癬には主に次の3種類がある。




趾間型白癬 指の間の皮がむけ、角質が厚くなって白くふやける。びらん状になることもある。

小水疱型足白癬 足底や足側縁にかけて鱗屑を付着した小水疱やのう胞が多発。強いかゆみを生じる。

角質増殖型足白癬 足の裏全体の角質が厚くなり、鱗屑や亀裂を生じる。放置すると症状が悪化し、爪や手、体部などへ感染が広がり、細菌感染症が併発することもある。また、スリッパ、足拭きマットなどから他人へ感染することもある。疑いがある場合は皮膚科を受診しましょう。



足白癬(水虫)



蜂窩織炎 (ほうかしきえん)	皮膚が赤くなったり腫れたり、膿が出て、痛みも生じる。 糖尿病、足白癬、外傷、やけどなどから細菌の感染が原因です。	
ひょう疽	爪の周囲の炎症で、巻き爪、深爪、外傷、慢性的刺激を伴う。 爪の周囲が赤く腫れ、膿、熱感、痛みが生じる。黄色ブドウ球菌などの感染が原因です。	
尋常性疣贅 (イボ)	ウイルスが原因の良性のできもの。痛みや炎症を起こす。	
鶏眼 (ウオノメ) 胼胝 (タコ)	皮膚の肥厚。圧迫や摩擦が原因。 タコ・ウオノメは皮膚への圧迫を取り除けば次第に消えていく。削る人もいるが、削っても完治しにくい。 糖尿病の人は小さな傷から感染症を引き起こす場合があるので要注意です。	
外反母趾	親指が外側に「く」の字型に変形。親指の付け根が外側に張り出してくる。 最初は痛みが強いが、痛みが治まるので放置されることもある。主に足に合わない靴を履くことが原因。	
内反小趾	外反母趾とは逆に小指が内側に入り込むように曲がる。	

爪の病気

健康な爪はピンク色をしています。加齢によって濁った色になったり、肥厚し、乾燥しやすくなるなど変化します。爪の変化は老化だけではなく、病気が潜んでいる場合もあります。

爪白癬 (爪水虫)	爪白癬になると白く濁って、やがて厚く、もろくなる。爪白癬の正体は、白癬菌というカビの一種。 爪白癬を放置しておくと病状が進行し、爪がボロボロになってしまう。 内服薬と外用剤で治療を続ければ完治します。	
爪のカンジダ症	爪周囲に炎症を伴う「爪周囲炎」から始まり、爪甲や爪床にカンジダ真菌が侵入して、爪甲の栄養障害をきたす。白色の線状が見られる。 炎症が慢性化すると、爪甲がでこぼこし、横溝や変色を生じる。	
巻き爪	親指に起こりやすく、爪の側縁の先端が食い込み、周囲の皮膚が炎症を起こす。 炎症が化膿すると痛みが生じ、歩けなくなることもある。 外反母趾に多く見られる。 深爪、靴による圧迫、白癬菌の感染による爪の変形などが原因。	
厚硬爪	爪の甲が大きく、厚く硬くなる。変形、色の混濁も見られる。 靴による圧迫、足の变形、内臓の病気などが原因。	
爪甲鉤弯症 (そうこうわんしょう)	爪の色が黒っぽくなり、厚くなる。親指または第二趾に見られる。 原因は靴の圧迫、やけど、がん、遺伝など。	
爪甲萎縮	爪の甲が小さく、薄くなるので、はがれやすくなる。栄養障害、皮膚疾患、内臓の病気が原因。	
爪甲軟化症	爪の甲が蒼白で異常に薄く柔らかくなる。曲がりやすい。 内臓の病気、薬の副作用、神経障害、栄養障害によるケラチン不足などが原因。	

フットケアは高齢者・糖尿病患者のQOL(生活の質)を向上するために、大変重要なものです。
足(足首よりも先)の皮膚・爪に異常があれば出来るだけ早く皮膚科を受診してください。
ただし、奇形や骨・腱の異常、また美容目的などは対象外となります。

院内がん登録

昨年の5月号では、平成16年の「院内がん登録」の結果をご紹介させていただきましたが、この度、平成17年の集計を終えましたので、その結果をご報告いたします。

以前にもお知らせいたしましたとおり、我が国では、「第3次対がん10か年総合戦略」において、全国どこでも同じレベルで質の高いがん医療を受けることができるよう、がん医療の「均てん化」を図ることが戦略目標の一つとして掲げられています。この“同じレベル”を評価する指標として登場したのが「院内がん登録」で、2003年に「地域がん診療拠点病院院内がん登録標準項目とその定義」が公表され、全国の情報と同じ項目、同じ定義、同じ区分で登録、収集されるようになりました。登録項目は多岐に及び、専門的な知識と診断に基づく分類が必要であり、当然ながら高い精度が要求されます。がん医療の向上とそれを支える社会環境として全国的に整備が進められている地域がん診療連携拠点病院には、がん診療の水準の向上はもちろん体制および機能の充実強化が求められる一方で、「院内がん登録」が義務付けられています。

登録対象：入院外来を問わず、下記の期間中、新たに受診・診断・治療の対象となった腫瘍
期 間：2005年1月～2005年12月

登録件数：478件(前年比+22件)

がん登録件数は、他の医療機関でも重複登録される場合があることから、がん発生数(罹患数)とは異なり、場合によっては両者に大きな差が生じることがあります。



集計結果：部位別・地域別の集計に加え、全件またはがんの種類ごとの登録件数を男女・年齢別にグラフ化、前回と比較しましたのでご参照ください。

国立がんセンターが公開しているがん統計(平成11年 平成10年～12年値)によると、日本における1年間のがん発生率(罹患率)は約0.3%であることから、新居浜、西条、四国中央市では人口約34万人のうち、がん罹患者は1,000人規模と推計されます。そして、全国平均に比べて高齢者率が高いことを考慮すれば、この地域では毎年、およそ1,200人が罹患しているという計算となります。

グラフの見方 横軸：登録件数 縦軸：年齢区分

1：すべてのグラフで共通

(がん登録件数)/(新居浜、西条、四国中央市での推定がん罹患数) 上段2004年、下段2005年

個人情報につきましては、法令および厚生労働省のガイドラインに基づき適正に取り扱い、また、適切に保護、管理しています。

住友別子病院における平成17年院内がん登録データ

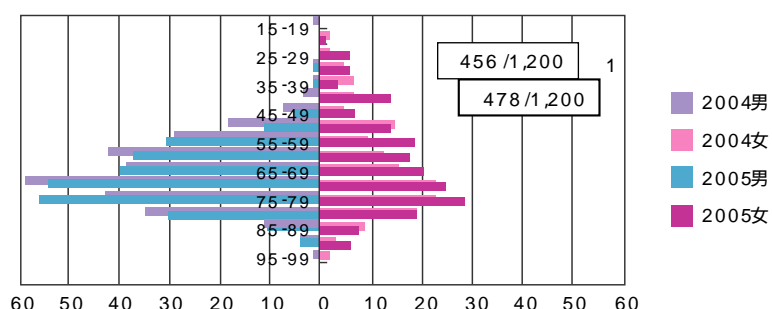
部位別がん登録件数

	2004年	2005年	増 減
胃 が ん	98	78	-20
直腸・結腸がん	82	73	-9
泌尿器科がん	71	60	-11
肺 が ん	46	73	27
肝 が ん	31	37	6
婦人科がん	27	35	8
乳 が ん	23	31	8
血液腫瘍	22	34	12
胆・膵がん	17	25	8
食道がん	13	9	-4
皮膚がん	10	3	-7
頭頸部がん	6	5	-1
脳腫瘍	5	3	-2
甲状腺がん	2	8	6
そ の 他	3	4	1
	456	478	22

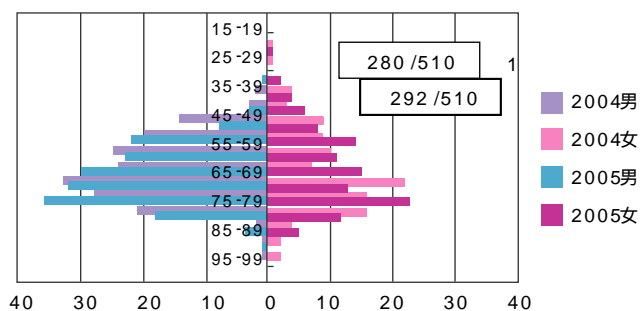
地域別がん登録件数・割合

	2004年		2005年	
	がん登録件数	割合	がん登録件数	割合
新 居 浜 市	342	75.0%	351	73.4%
西 条 市	61	13.4%	70	14.6%
四 国 中 央 市	45	9.9%	53	11.1%
今 治 市	5	1.1%	1	0.2%
そ の 他	3	0.7%	3	0.6%
合 計	456	100.0%	478	100.0%

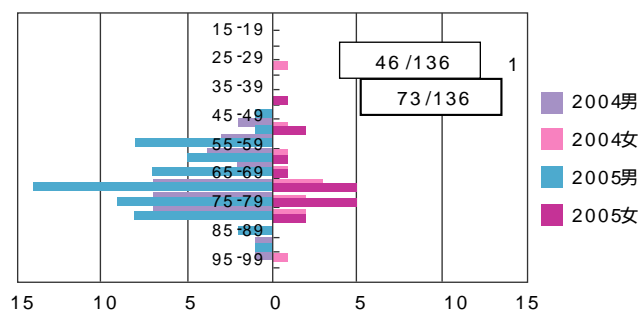
17年全がん年齢分布



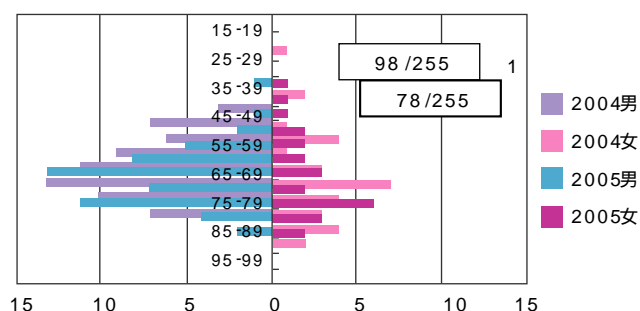
17年 5大がん年齢分布



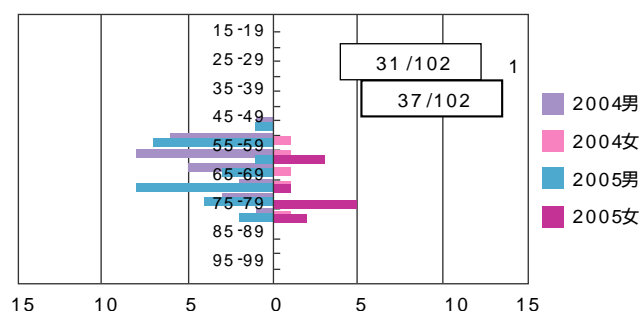
17年 肺がん年齢分布



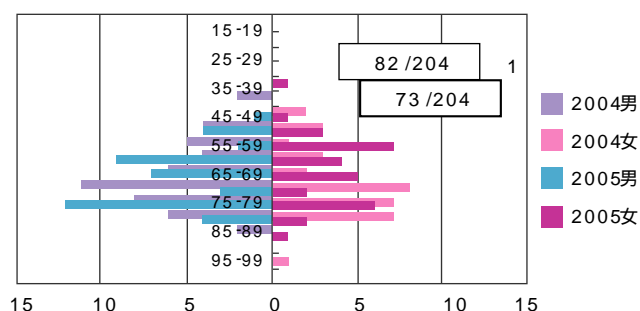
17年 胃がん年齢分布



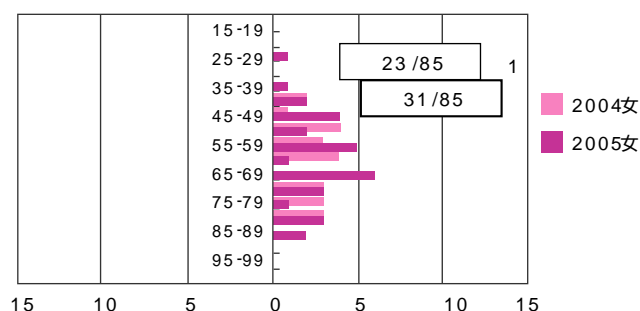
17年 肝がん年齢分布



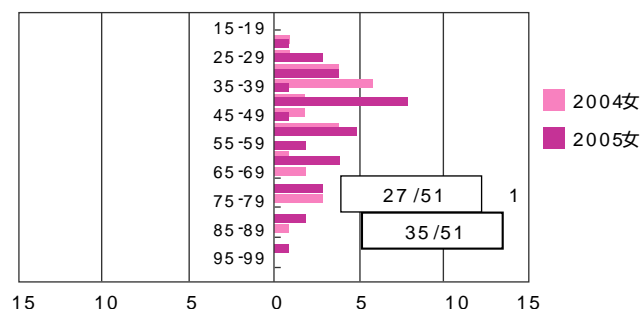
17年 大腸(直腸結腸)がん年齢分布



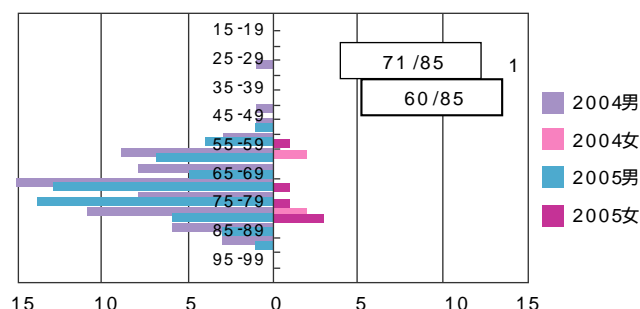
17年 乳がん年齢分布



17年 婦人科がん年齢分布



17年 泌尿器科がん年齢分布



がん登録を通じて患者様の居住地、来院経路はもとより紹介元、紹介先、治療内容等、いろいろな情報が蓄積されることになります。データ分析を進めることで住友別子病院のがん診療の向上のみならず、地域のがん対策や評価にも活用することが可能となります。さらに全国データと比較すれば、地域がん診療連携拠点病院としての課題の把握のみならず問題解決のため

の手がかりが得られることにもなります。データ集積を始めたばかりではございますが、今後も情報の収集および提供に努めてまいりたいと考えております。

尚、部位別がん登録件数と地域別がん登録件数・割合を公開いたしますので、住友別子病院の診療実績の一つとしてご覧ください。

看護の日とは...



21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合うことが必要です。このことを老若男女を問わずだれもが認識するきっかけになるようにフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日が「看護の日」に制定されました。

当院においても「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに第17回目の看護週間を5月7日～11日イオンショッピングセンターくすのき広場において開催しました。今回の展示ポスターは、メタボリックシンドローム 眼疾患 腰痛 介護の仕方 うつ病等について掲示し、パンフレットの配布も行ないました。身長・体重・体脂肪率・動脈硬化測定と栄養士による食事指導及び看護相談をさせて頂き、462名の参加がありました。例年通り動脈硬化測定への参加希望が多く、358名の測定を実施しました。その結果を見て若いと喜んだり、年齢以上であったとがっかりしたりとても賑わい盛況でした。

5月10日は病院内において、「ふれあい看護体験」7名の方が参加されました。病院内の見学から始まり病棟での洗髪介助、患者様とのコミュニケーション等 10:30～12:30まで体験して頂きました。午後からは、リハビリセンターにて車椅子体験を行いながらちょっとしたコツを学ばれ、スムーズに車椅子を運ばれていました。懇親会では、「ベッドで寝たまま紙おむつを使用して洗髪する方法を学びとてもよかった。」又「車椅子に触ることもなかったのに押したり乗ったりの体験が出来て、1日とても有意義だった。」と喜んで頂き、来年も是非参加したいという意見がありました。これらの体験を今後に役立てて頂ければ幸いです。



市民公開行事

平成19年5月19日(土)『第8回市民公開行事』が当院多目的ホールにて開催され、今回も定員を超える47名の参加があり会場一杯...大盛況でした。(会場の都合で参加出来なかった方には本当に申し訳なく思っております。)



第1部の市民健康講座では『たばこと健康』と題して、洲脇俊充アレルギーセンター長が講演いたしました。たばこ(喫煙・受動喫煙)による害、それに伴う“がん”や“心疾患”“脳卒中”等の発症率や死亡率などを説明し『喫煙(ニコチン依存症)は病気。保険で比較的楽に治療できるので、ぜひ禁煙を...』と訴えました。

第2部の院内見学では、CT装置のしくみ(放射線科)と臓器標本等(病理検査室)を見ていただきました。

参加していただいた方からは、「たばこの害が理解できた。喫煙者の兄に禁煙を勧めたい。」「たばこの怖さにビックリ!若い方にこのような話をもっと聞いてほしい。」などの反響がありました。

これからも、皆様の健康に役立つ行事を企画し開催して行きたいと思っておりますので、次回も多数のご参加をお待ちしております。



健康管理講座のお知らせ

8月から糖尿病教室の内容が変更になります。第2、4週の講義に看護師が加わり、日常生活(フットケア、口腔ケア...他)についてお話しします。

日時

毎週水曜日 午後2時～3時30分

場所

外来教室(正面玄関入って右側)

第1、3週	第2、4週
糖尿病とは・治療他 食品交換表・計量他	日常生活について 糖尿病の合併症他 献立作成方法他
医師 栄養士	看護師 医師 栄養士

月によっては、週内容が変更になる場合があります。事前にお問い合わせ下さい。

問い合わせ先

TEL(0897)37-7116 医事課

ご迷惑をお掛けいたしました！ 無事塗装工事が終了しました。

病院保全と美観的対応から外壁塗装を行いました。工事期間中(4月21日～5月31日)は、入院患者様や外来患者様および関係者の皆様大変ご迷惑をお掛けいたしました。

どうです、キレイになった病院を見てください！えっ！変わっていない??? 同じ色で塗装したから変わらないように見えますが、実は“色あせ”“はがれ”がなくなりすごくキレイになっています。病院に来た時よく見てね...



VOICE

皆様のご意見により、 駐車場を増設いたしました。

「駐車場が狭い」「満車で車が止められない」と多くのご意見や投書をいただいた駐車場ですが、病院裏側の第2駐車場に64台増設しました。

今回増設した駐車場は未舗装ですので、職員の駐車場としております。患者様方にはアスファルトで舗装されている駐車場(主に赤枠内)をご利用ください。今後も、皆様からのご意見を大切に考え、可能なものから改善してまいります。



平成19年度 新入社員紹介

4月1日付けで新しいスタッフが加わりました。よろしくお願いたします。新入社員の皆さんに、今後の抱負を聞いてみました。

毎日笑顔をお心がけ、気持ちのよいあいさつをしたいです。常に向上心を持ち、努力する事を心がけます。

右も左もわからないような状態で社会人となり、不安もあります。しかし、現場の方たちの助けのもと、病院の理念と行動指針を真摯に受け止め、1つ1つの知識と技術を自分のものとし、患者様はもちろんですが、周囲の方から必要とされるよう、日々精進していきたいです。

患者様のことを最優先に考え、患者様をはじめ周りの人たちから信頼される社員になりたいです。どんなときでも笑顔をおたやさないで、患者様にとって安心感を持っていただけるような看護師になりたいです。

学校で学んだ基礎や、実習に行き感じてきた事を忘れずに、勤務していきたいです。また、初めのうちは業務に慣れる事に気持ちがいっぱいになるかもしれないけれど、少しずつ業務に慣れ、心に余裕を持ち、患者様に寄り添える看護を提供していきたいです。

笑顔をお忘れない社員になりたいです。患者様やご家族の方など、様々な人と接することの多い職場です。接客対応一つで住友別子病院自体のイメージも大きく変わると感じますし、自分自身も笑顔でいることで、心にゆとりを持てるのではないかと思います。業務の方も頑張りたいです。



薬 剤 師	1名
放 射 線 技 師	1名
臨 床 検 査 技 師	2名
臨 床 工 学 技 士	2名
看 護 師	17名
事 務 員	1名
合 計	24名

住友別子病院カレンダー

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24	25	26	27	28	29

赤字は病院休診日

9月24日は振替休日ですが、通常どおり診療いたします。

専門 産業衛生
認定 日本医師会認定産業医
 労働衛生コンサルタント
学位 医学博士
表彰 平成14年厚生労働大臣
 労働衛生推進賞



リハビリセンター
 の 篠 原文 雄

昭和23年住友別子病院に赴任。
 昭和59年から平成16年まで住友化学
 愛媛診療所長として勤務。
 平成16年8月よりリハビリセンター
 に勤務。
 皆様から愛されるダンディー先生。

医師紹介は主な履歴を抜粋したものです。

第一話 火の玉をつかまえた

父から聞いた話。父が中学に行
 っていた明治時代。愛媛県には中
 学は松山と西条の二校で自動車も自
 動車もなく、自転車は村に一台村
 長さんの家にあるかないかの時代
 です。ですから多くの生徒は寄宿舎(今
 の寮)生活です。小説坊ちゃんの中
 で坊ちゃん先生の宿直の夜のイナ
 ゴ事件は寄宿生のいたずらでした。

(ちなみに私の時代は中学は県立
 私立合わせて県内で八校でした。)
 さて夏休みとなり友人の家へ泊ま
 りがけで遊びに行つた時の事。村
 芝居を見ての帰り、街灯などない
 時代ですから提灯で足もとを照ら
 しながら林を抜けた時、向こうを
 青白い光のかたまりがゆらゆらと
 ゆれながらゆっくり移動している
 のを発見、火の玉とちがうかと友
 人と顔を見合せたもののゆっくり

火の玉

とした移動なものでと近づいて
 見るため追っかけてゆかたのため
 とと学生帽で二人してすくい取り、
 友人の家に帰って土間でランプの
 光の下で開いてみると、なんと、
 何千、何万とも知れぬ蚊の群れだ
 ったとの事。はじめてのことな
 で紙袋へ入れておいたところ翌日
 の夜はもう光らなかつたとゆうこ
 とです。後日、学校で博物の先生
 に話したところ、それは有機物が
 酸化、腐敗する時、偶然発光バク
 テリアが異常発生して見られる現
 象ですとの事だった。先生も一度
 村のお宮に今、幽霊が出ていると
 青年団が言ってきた、見に行くと
 ボロボロの朽木がボーと青白く光
 っていた。生徒に見せようと思っ
 て少し持ち帰って職員室へ置いて
 いたが二日位でもう光らなくなっ
 ていた。たぶん乾燥のためバクテ
 リアが死滅したためだろうと先生
 の話だったそうです。

第二話 火の玉を撃ち落としました

私がクレイ射撃をしていた時、
 開業のS先生から聞いた話。鴨
 にはモーターボートで群に近づい
 て飛び立つ所を射撃したり(これは
 あまり成功しない)葦の中をそつと
 近づいて射撃したり、いろいろあ

りますが、鴨は昼は安全な海上に
 群れて浮かんでいて、夕方になる
 と餌を求めて田んぼに飛んでくる
 習慣があるのでそれを利用した鴨
 猟では鴨が通ると思われる場所
 待ち伏せして射撃します。暦の上
 での日没後、日の出前は危険な
 で発砲禁止です。これは戦前、昭
 和十二、三年頃の事ですが話し
 てくれました。海に帰る鴨をねら
 って山ぎわで待っていた時、火の
 玉がスーと眼の前を横切つたので
 ブローニングの自動五連銃で一発
 で撃ち落とし拾いに行つてみると、
 なんとこれが鴨でさわつた手まで
 光つたとの事。「発光バクテリア
 ですね。有り得る事だとは思いま
 すがたつた一度の経験でした。」と
 の事でした。



ちよつと
 ひとこと

子供が喜んだ 水遊びのポイント

写真を見て下さい。小さい吊橋
 があって下の流れはおだやかで砂
 の広場があり浅瀬から深い所への
 水面があります。適度な木陰もあり、
 ミンミンのミンミンの声を
 を聞きながら空を眺めると谷間の

上は青い大空で白い雲が流れてい
 ます。以前は対岸まで膝位の深さ
 で孫達の水遊びに最適でしたが今
 は台風のために向う岸近くの砂利
 が流されて深そうです。いくら流
 れがゆるやかでも川は岸近くでも
 急に深くなつていたりします。子
 供から一寸でも目を放すと事故
 につながります。絶対忘れてはい
 けません。場所は西条の加茂川。
 寒風山トンネルへの道。市倉フ
 ームの前を通り2キロ位で右に加
 茂郵便局の看板があります。ここ
 で川側に降りる道があり吊橋を
 渡つて荒川山の集落に通じていま
 す。橋を渡つて右へ降りると川原で
 看板の右の山側に何台も駐車可能
 な広い所がニヶ所あります。少
 しゆらゆらする吊橋は子供にとつ
 て珍しい体験でしょう。

